



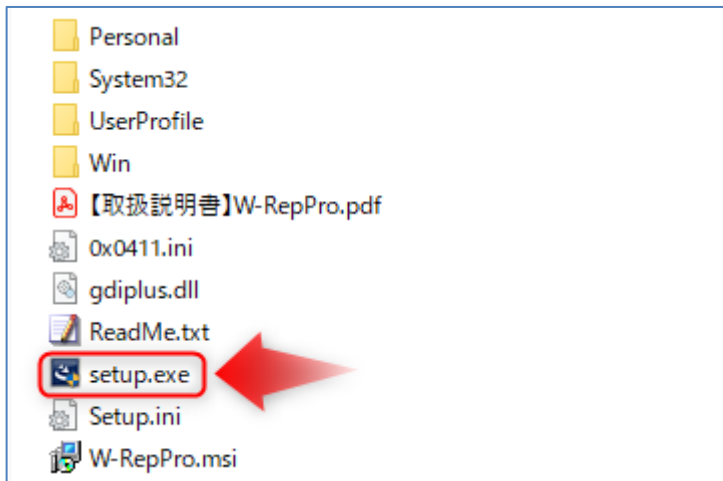
W-RepPro

取扱説明書

※本取扱説明書で記載している画像は、Windows 10 で取得したものです。
OSの種類によっては、異なる画面イメージになります。

1. インストール方法

STEP 1 ダウンロードしたファイルを任意の場所に解凍し、「Setup.exe」をダブルクリックしてください。

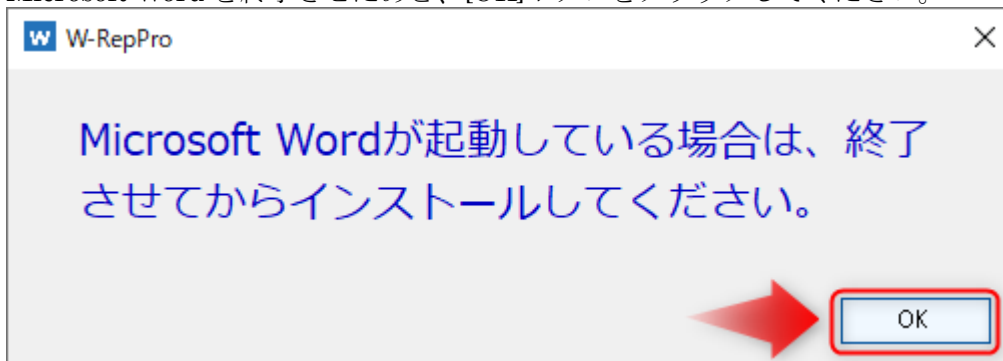


※下記画面が表示されたときは、[詳細情報]をクリックし、表示された画面で[実行]をクリックしてください。



STEP 2 下記のダイアログが表示されます。Microsoft Word が起動中である場合は、ここで終了させてください。

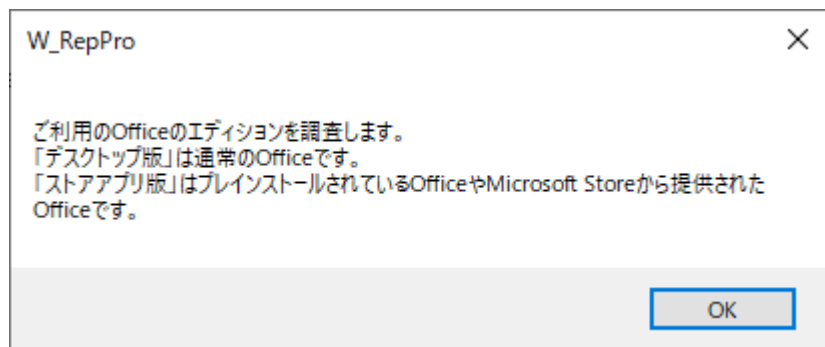
Microsoft Word を終了させたあと、[OK]ボタンをクリックしてください。



◆ご注意

ご利用の Office が、64bit 専用モードでインストールされている場合、プレーヤーは、Word の中に一体化して表示されません。専用のプレーヤーが起動します。

STEP 3 ご利用の Office のエディションを確認します。



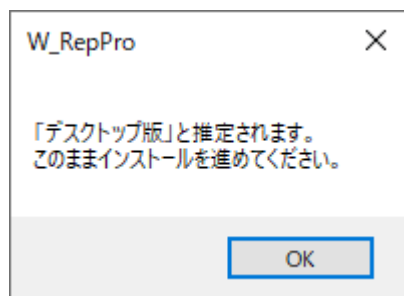
Microsoft Office には、「デスクトップ版」と「ストアアプリ版」が存在します。

本ソフトは、「デスクトップ版」が対象です。

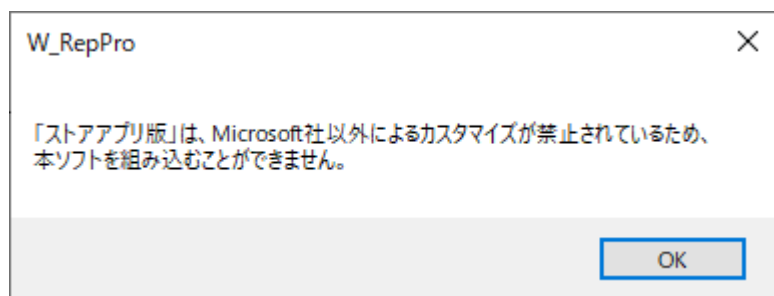
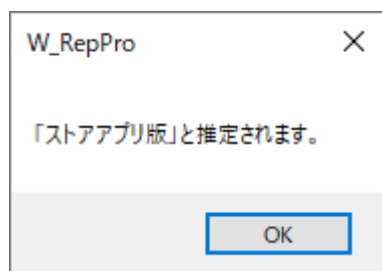
「ストアアプリ版」は、Microsoft 社以外によるカスタマイズが禁止されているため、本ソフトを Word に組み込むことができません。「ストアアプリ版」の場合は、「デスクトップ版」に更新を行ってください。無料で更新可能です。詳しくは、手順中に表示されるホームページご確認願います。

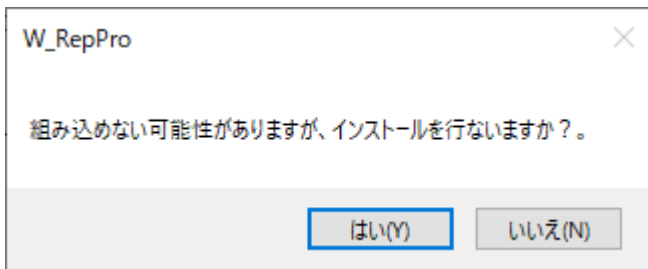
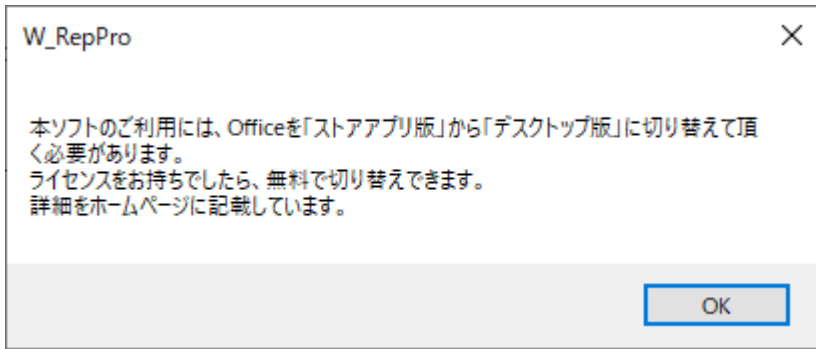
◆ Office の更新に際して、ボイステクノ並びに販売者等は、個別サポートは行っておりません。自己責任で更新を行ってください。不明な点がある場合は、マイクロソフト社へお問合せください。

● 「デスクトップ版」と推定される場合



● 「ストアアプリ版」と推定される場合



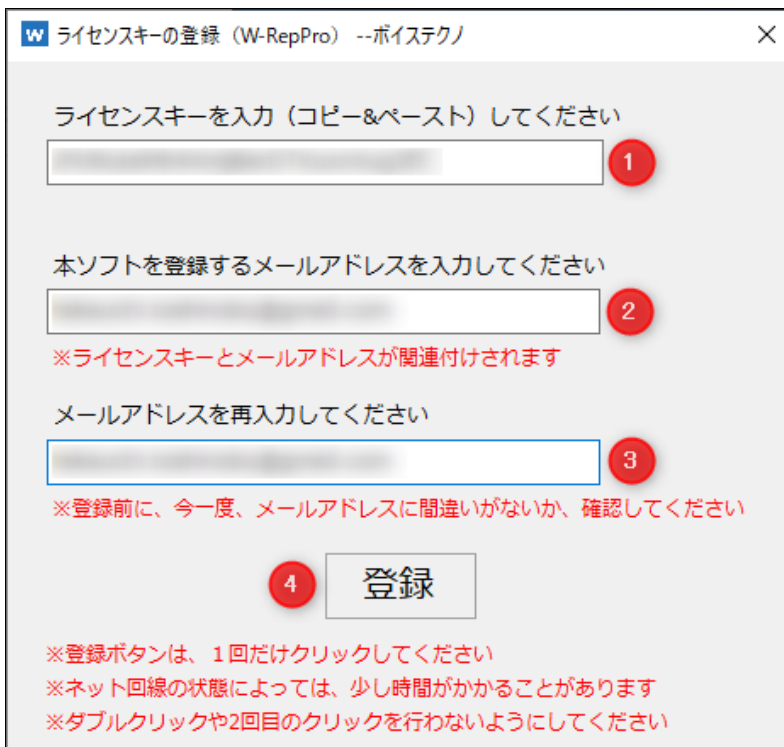


「いいえ」を選択し、Microsoft Office を「デスクトップ版」に更新してから、本ソフトをインストールすることをお勧めします。

「はい」を選択すると、インストールが可能ですが、アドインが表示されない可能性が高いです。

◆Office の判定は、既存情報に基づいて判定していますが、今後、判定条件が変わった場合は、「デスクトップ版」であるのに、「ストアアプリ版」と誤った判断してしまう可能性はあります。その場合は、「はい」を選択して、インストールを行ってください。

STEP 4 ライセンスキー登録画面が表示されます。



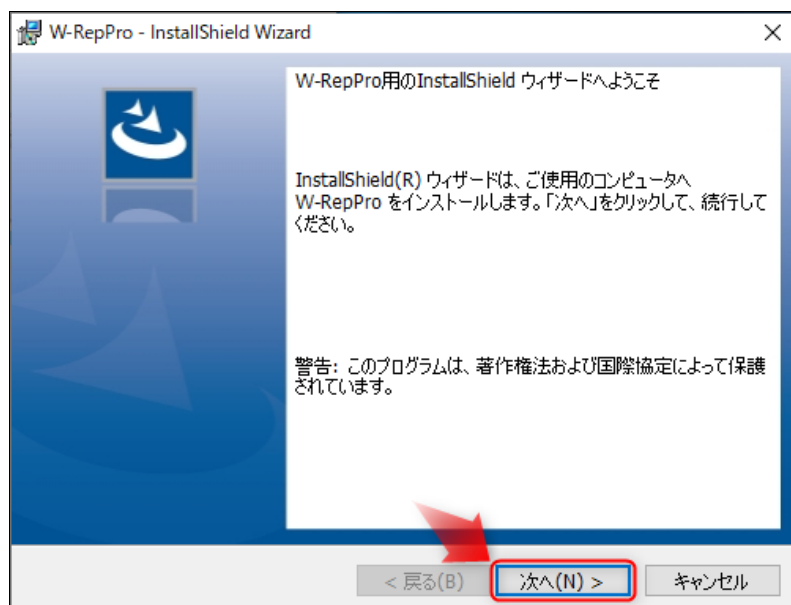
①ご購入されたライセンスキーを入力 (コピー&ペースト) してください。

②ご購入者のメールアドレスを入力してください。

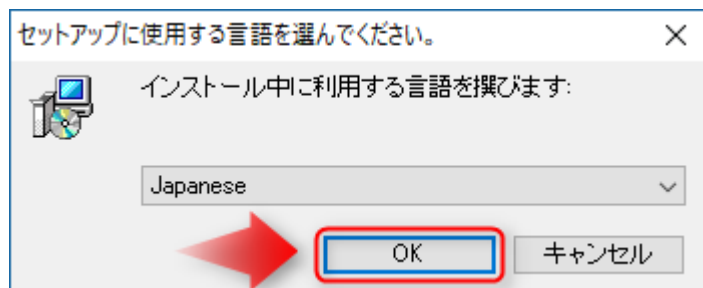
③メールアドレスを再入力してください。

④ 「登録」 ボタンを 1 回だけクリックしてください。

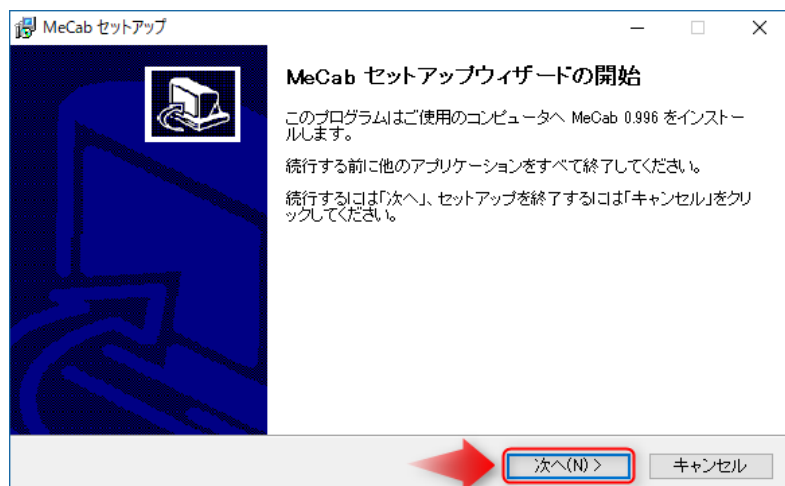
STEP 5 「次へ」 をクリックしてください。



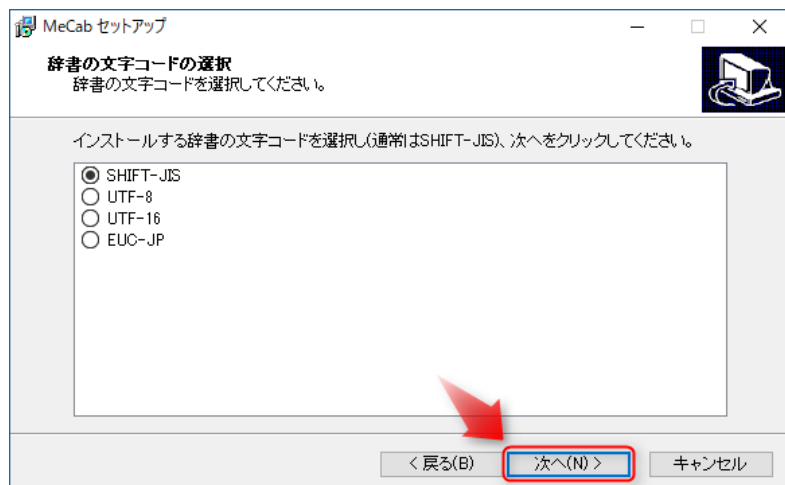
STEP 6 W-RepPro のインストールに先立ち、本ソフトに必要な Mecab をインストールします。表示される画面に沿って実行してください。「OK」をクリックしてください。



「次へ」をクリックしてください。

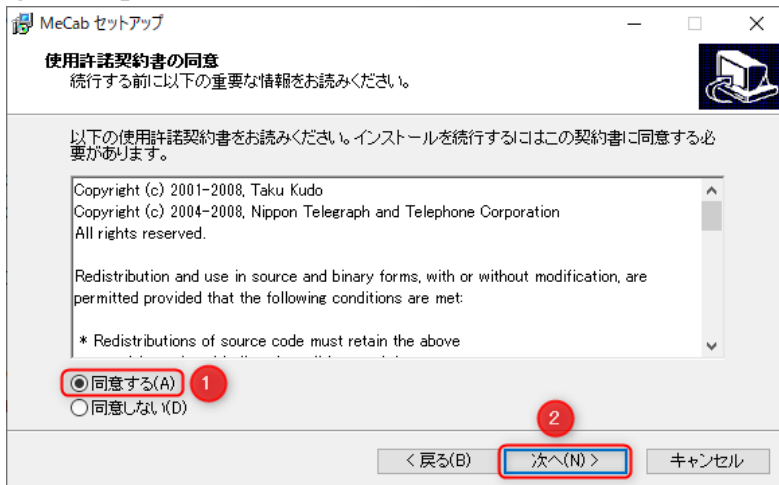


SHIFT-JIS が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

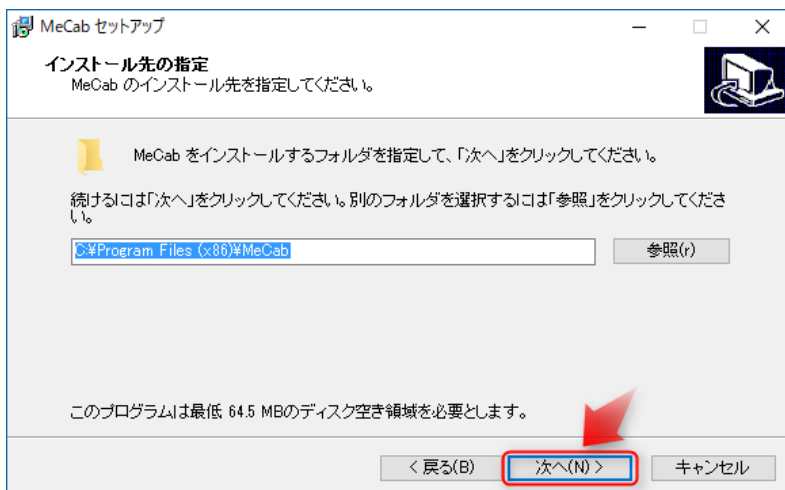


①使用許諾条件をお読みになり、同意頂ければ、「同意します」にチェックを入れてください。

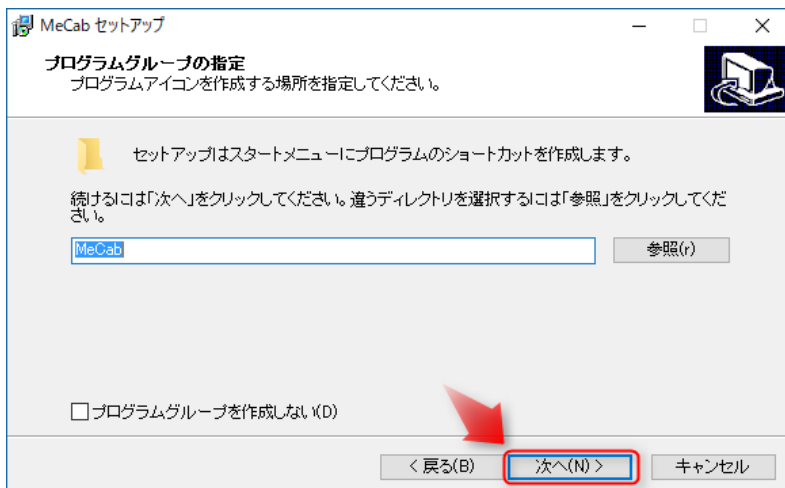
②「次へ」をクリックしてください。



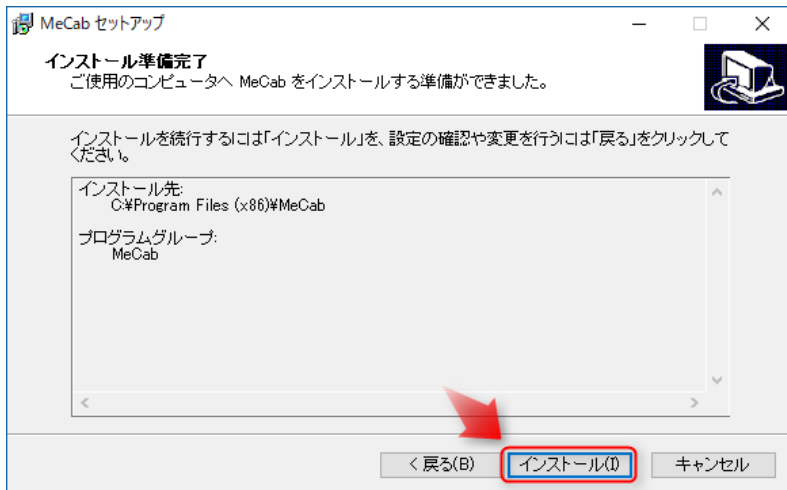
インストール先を確認し、「次へ」をクリックしてください。



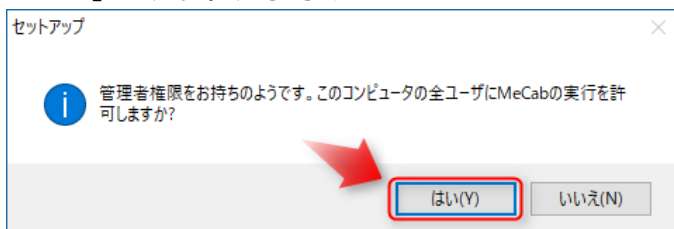
「次へ」をクリックしてください。



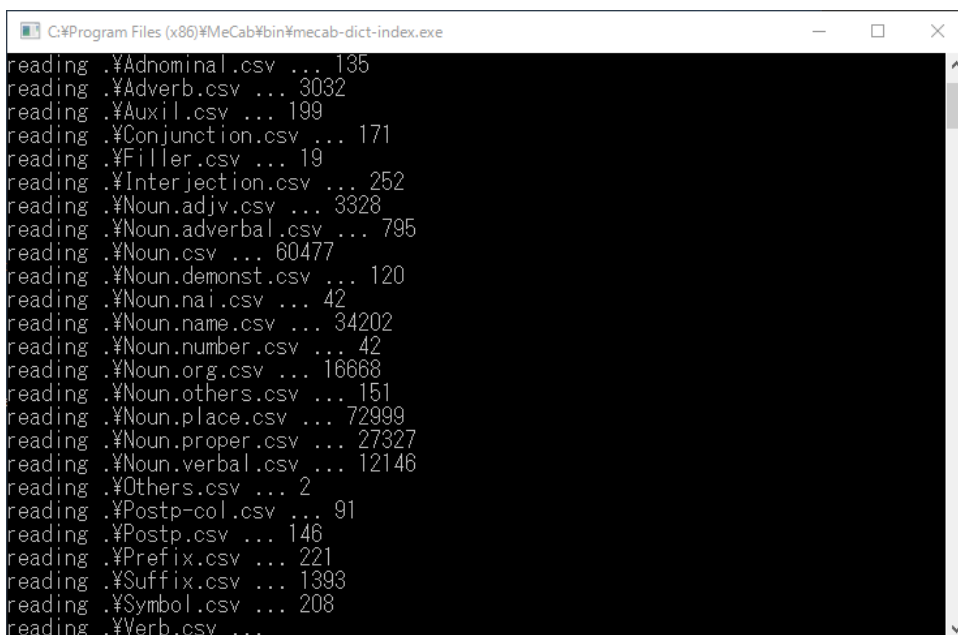
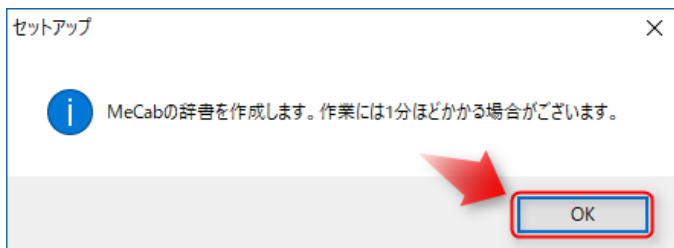
「インストール」をクリックしてください。



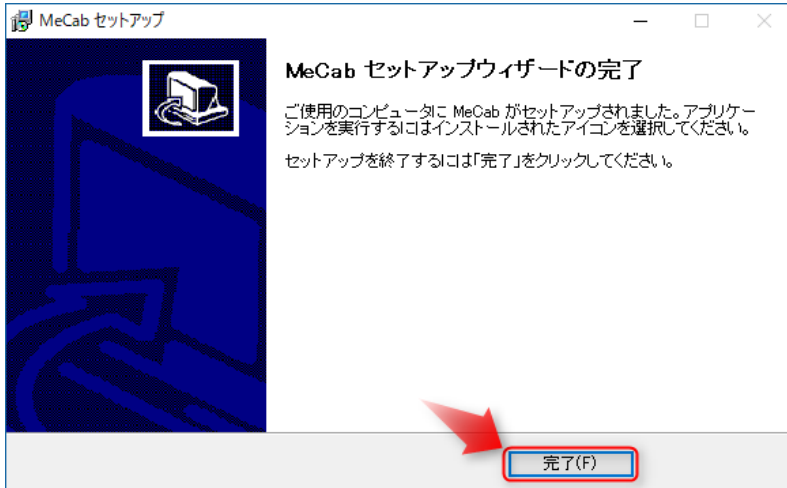
「はい」をクリックしてください。



「OK」をクリックしてください。

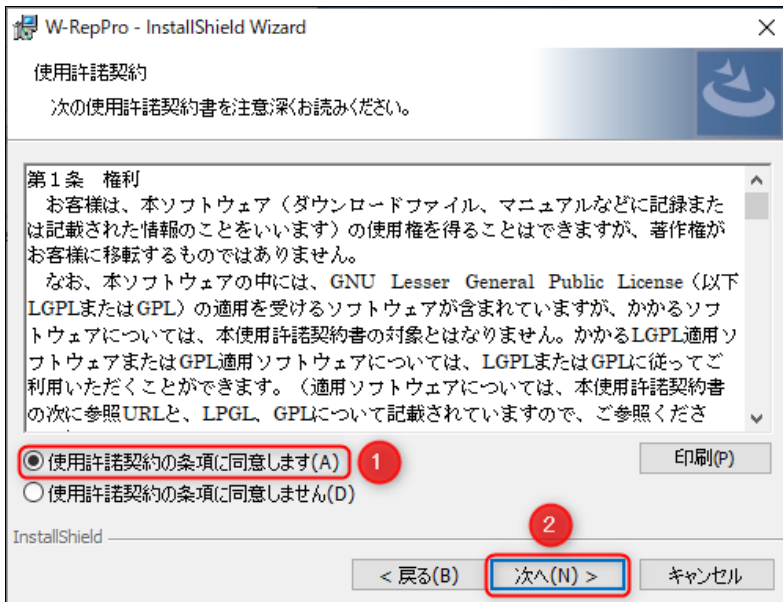


「完了」をクリックしてください。

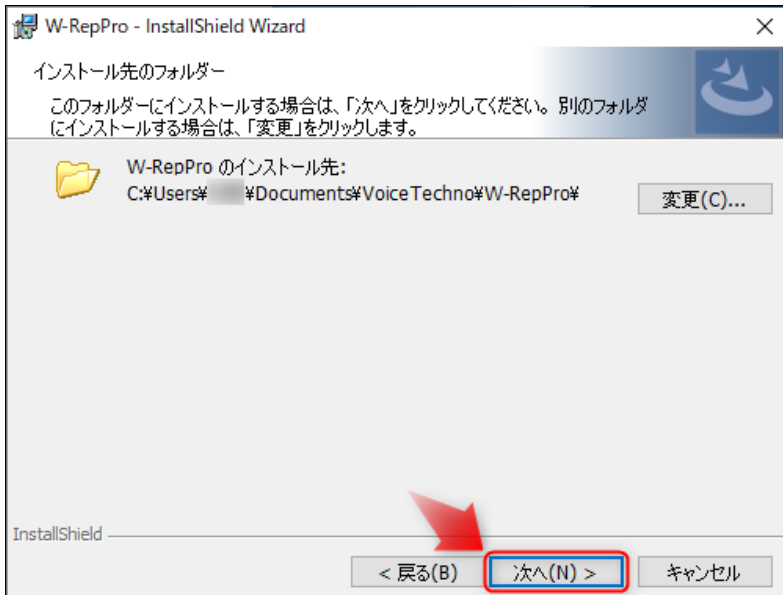


STEP 7 W-RepPro をインストールします。表示される画面に沿って実行してください。

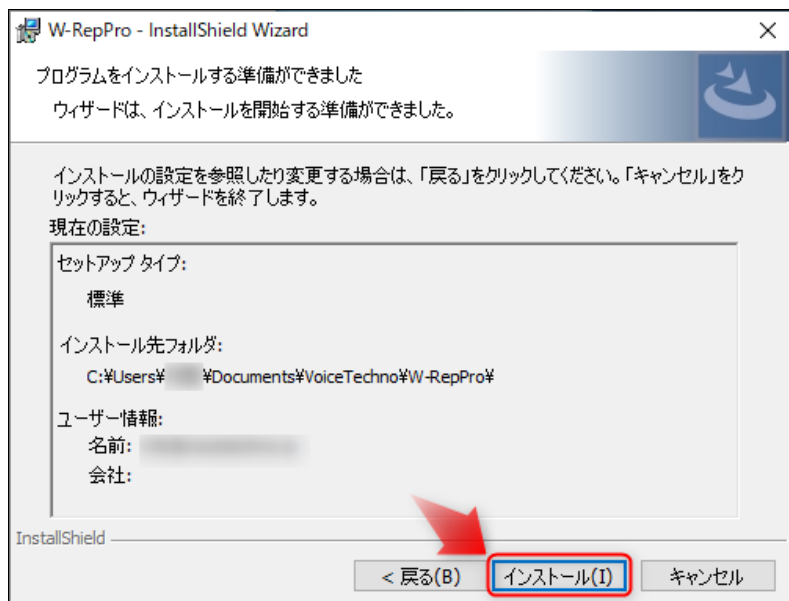
- ① 使用許諾条件をお読みにになり、同意頂ければ、「同意します」にチェックを入れてください。
- ② 「次へ」をクリックしてください。



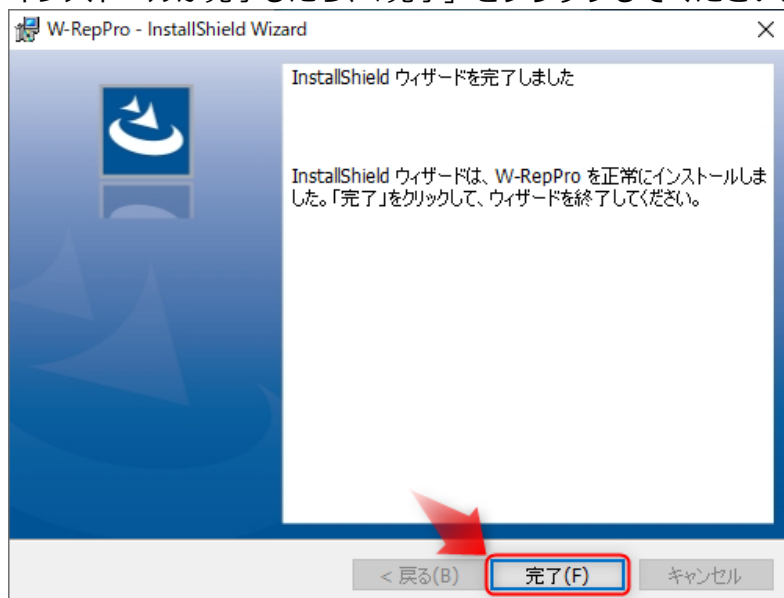
インストール先を確認し、「次へ」をクリックしてください。



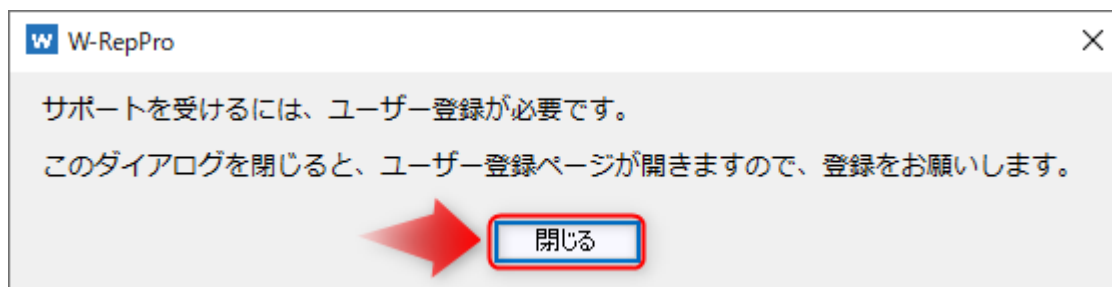
「インストール」をクリックすると、インストールが開始されます。



インストールが完了したら、「完了」をクリックしてください。



STEP 8 ユーザー登録案内のメッセージが表示されます。内容を確認し[閉じる]ボタンをクリックしてください。



STEP 9 ブラウザが起動し、ボイステクノの「ユーザー登録ページ」が立ち上がります。お手数ではございますが、ソフトのご利用前に必ずユーザー登録をお願いいたします。

ボイステクノは、株式会社ボイススピリッツ（Panasonicの社内ベンチャー会社）の事業を承継した個人事業です。

ボイステクノ

ホーム 商品一覧 プロフィール ユーザー登録 お問い合わせ

ユーザー登録

■ ユーザー登録

下記のフォームにご入力の上、[登録実行]ボタンをクリックしてください。サポートを受けるには、ユーザー登録が必要です。ご登録頂きましたユーザー様には、サポート・アップデート情報、新商品の発売情報等、関連情報のメールを配信させていただきます。登録内容の変更、メール配信の停止は、[こちら](#)でお受けしています。

◆もしユーザー登録し忘れた場合は、[こちら](#)（Ctrl キーを押しながらクリック）で登録ページが表示されます。

STEP 10 Word を起動すると、1 回だけ Microsoft Office カスタマイズ インストーラーが表示されます。この画面が出たら、[インストール]をクリックしてください。

Microsoft Office カスタマイズ インストーラー

発行元が確認されました

このカスタマイズをインストールしますか?

名前: W-RepPro - W-RepPro

インストール元: file:///C:/Users/ /Documents/VoiceTechno/W-RepPro/W-RepPro.vsto

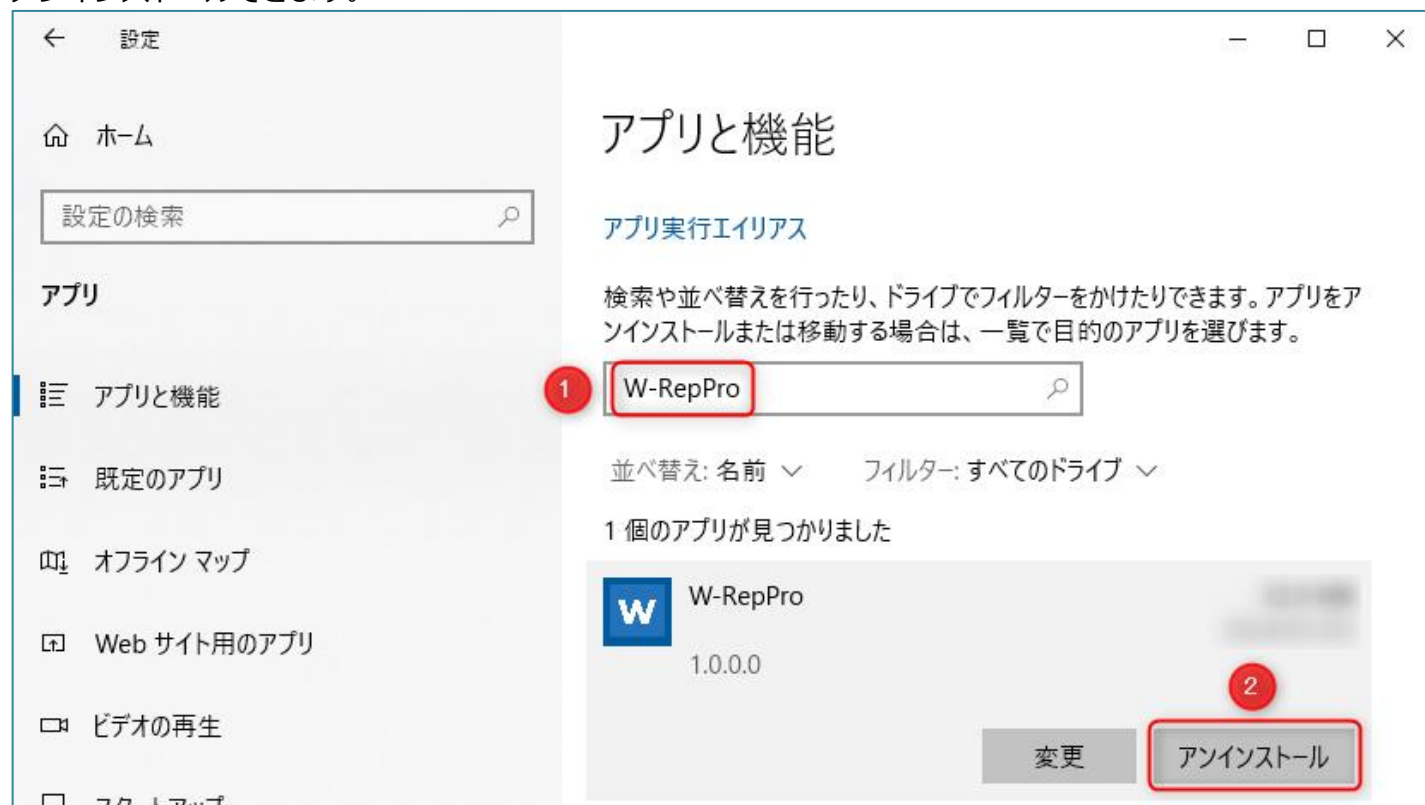
発行者: [ボイステクノ](#)

 Office のカスタマイズは便利ですが、コンピューターに危害を及ぼす可能性があります。ソフトウェアの発行元を信頼できない場合、このソフトウェアをインストールしないでください。[詳細情報...](#)

インストール(I) インストールしない(D)

2. アンインストール方法

Windows 10 / Windows 11 の場合、スタートメニュー>設定>アプリから、「アプリと機能」を表示することでアンインストールできます。



① 「W-RepPro」と入力すると、[W-RepPro]に関するアプリが検索され表示されます。

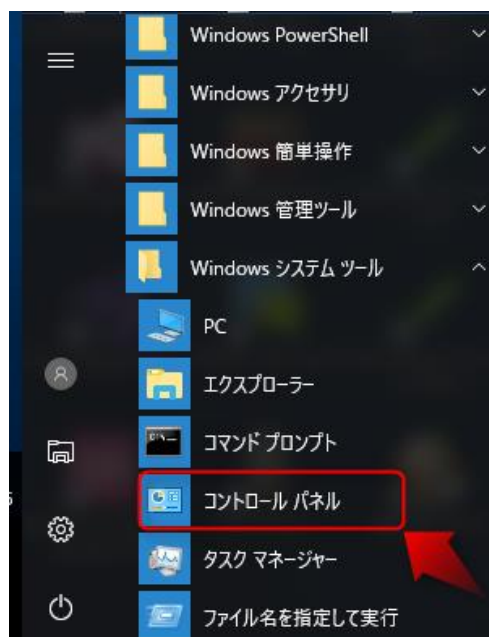
② [アンインストール]をクリックします。

◆ W-RepPro に引き続き、「Mecab 0.996」も同じ手順でアンインストールします。

Windows 10/Windows 11 のコントロールパネルからアンインストールする場合

コントロールパネルの「プログラムと機能」を選択し、その中にある「W-RepPro」をクリック。

画面上部にある「アンインストール」をクリックすると、アンインストールが開始されます。



Windows 10 では、スタートメニュー>Windows システムツールの中にある「コントロールパネル」を選択します。

Windows 11 では、スタートメニュー>Windows ツールの中にある「コントロールパネル」を選択します。

コンピューターの設定を調整します

表示方法: カテゴリ ▾



システムとセキュリティ

コンピューターの状態を確認
ファイル履歴でファイルのバックアップ コピーを保存
バックアップと復元 (Windows 7)
問題の発見と解決



ネットワークとインターネット

ネットワークの状態とタスクの表示
ホームグループと共有に関するオプションの選択



ハードウェアとサウンド

デバイスとプリンターの表示
デバイスの追加



プログラム

プログラムのアンインストール



ユーザー アカウント

アカウントの種類の変更



デスクトップのカスタマイズ

テーマの変更
画面の解像度の調整



時計、言語、および地域

言語の追加
入力方法の変更
日付、時刻、または数値の形式の変更



コンピューターの簡単操作

設定の提案の表示
視覚ディスプレイの最適化

名前	発行元
W-RepPro	ボイステクノ
MeCab 0.996	Taku Kudo

①アンインストールするソフトを選択します。

②[アンインストール]をクリックします。

◆ W-RepPro に引き続き、「MeCab 0.996」も同じ手順でアンインストールします。

3. 事前準備

3-1 Google Chrome をインストール

本ソフトは、Google Chrome を介して音声認識を行います。Chrome がインストールされていない場合は、先に、Chrome をインストールしてください。



本ソフトウェアは、Google 社の音声認識エンジンをインターネットを介して利用しています。そのため、Google 社の音声認識サービスが利用できなくなると、本ソフトの音声認識機能も利用できなくなります。音声認識のために、音声データがインターネットを介してデータが送受信されます。機密情報を含む音声のご利用はお控えいただきますようお願い申し上げます。本ソフトで音声を認識させても、音声やマイクの種類等の条件により、認識精度が出ないことがあります。これら音声認識機能のサービス継続、利用、精度等に関して、ボイステクノ並びに販売業者等は、いかなる責任も負いません。あらかじめご了承ください。なお、本ソフトでの音声認識機能については、[Google 利用規約](#) (Ctrl キーを押しながらクリック) をよくご確認の上、ご利用いただきますようお願いいたします。

3-2 録音デバイスの設定

本ソフトで、音声認識を行う場合、先に録音デバイスの設定を行う必要があります。

◆録音デバイスは、パソコンメーカーがパソコンに搭載しているサウンドデバイスのことを指します。パソコンごとに、搭載されているデバイスの種類や録音デバイスを動かすためのドライバーが異なります。パソコンに搭載されている録音デバイスの詳細は、ご利用のパソコンの取扱い説明書をご確認ください。

本ソフトで、音声認識を行うときの録音デバイスの設定は、次の通りです。次の表に基づいて、マイク、または、ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定してください。(設定方法は次ページ)

マイクによる音声の文字化	マイク
録音音声を再生して文字化	ステレオミキサー

◆録音デバイスの名称は、パソコンメーカーが設定しているため、異なることがあります。また、ステレオミキサーは、パソコンによっては、搭載されていないことがあります。ステレオミキサーが搭載されていないパソコンの場合、P19 記載のステレオミキサーがない場合の対応方法①、対応方法②をご参照ください。

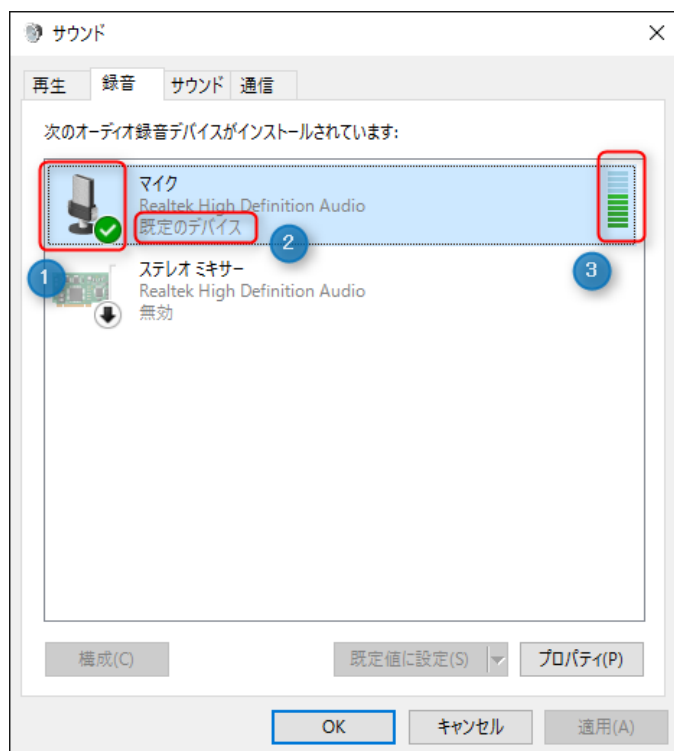
◆録音デバイスの設定は、必ず「既定のデバイス」となるように設定してください。「既定の通信デバイス」となっている場合、認識できません。(P16,P18 を参照) また、レベルを適切に設定しないと認識精度が悪くなります。

◆マイク音声入力を行う場合、パソコンにマイクを接続してからでないと、マイクを「既定のデバイスに」設定できません。先に、マイクをパソコンに接続しておいてください。

起動画面から、[録音デバイス]をクリックします。



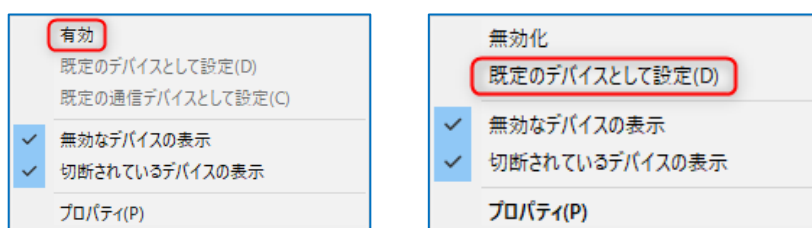
「マイクによる音声を文字化」の場合



①マイクにチェックが入った状態

②マイクが「既定のデバイス」となるように設定します。

◆右クリックメニューから「有効化」または「既定のデバイスとして設定」を選択することで設定できます。



③マイクの場合、マイクに向かって話すと、インジケータが適度に触れることを確認します。

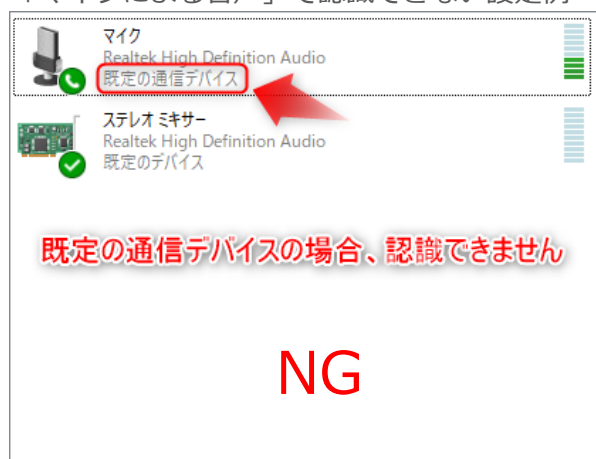
◆インジケータが適度に振れない場合、「プロパティ」をクリックして、表示されるダイアログでレベルを調整します。

[レベル]タブを選択し、スライダーを移動させて、マイク、マイクブーストのレベルを調整します。(調整して、適切かどうかは、前頁のインジケータが適度に振れるかどうかで判断します。)

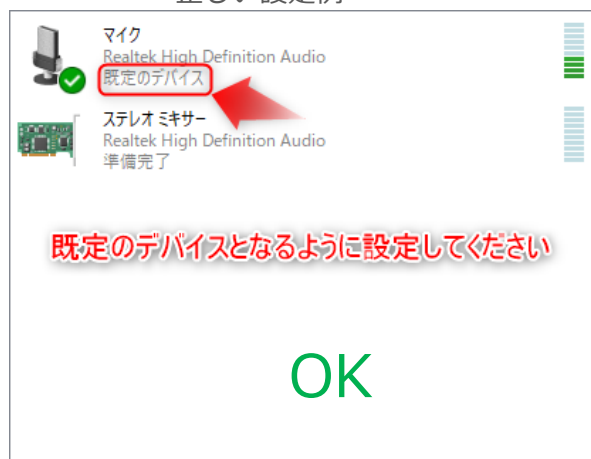


- ◆マイクの種類によっては、マイクブーストが存在しないことがあります。
- ◆マイクのレベルを調整しても、インジケータが適度に振れない場合は、マイク、またはパソコンの問題になります。マイクまたは、パソコンメーカーにお問合せください。
- ◆右クリックメニューから「無効なデバイスの表示」「切断されているデバイスの表示」を選択すると、デバイスが表示される場合があります。
- ◆「既定の通信デバイス」となっている場合は、インジケータが反応していても認識できません。右クリックメニューから「既定のデバイス」となるように設定してください。使用しないデバイスは、右クリックメニューから「無効化」を選択するとより確実です。

「マイクによる音声」で認識できない設定例



正しい設定例



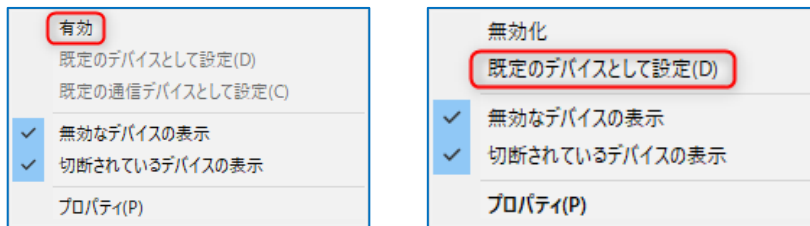
「録音音声を再生して文字化」の場合



①ステレオミキサーにチェックが入った状態

②ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定します。

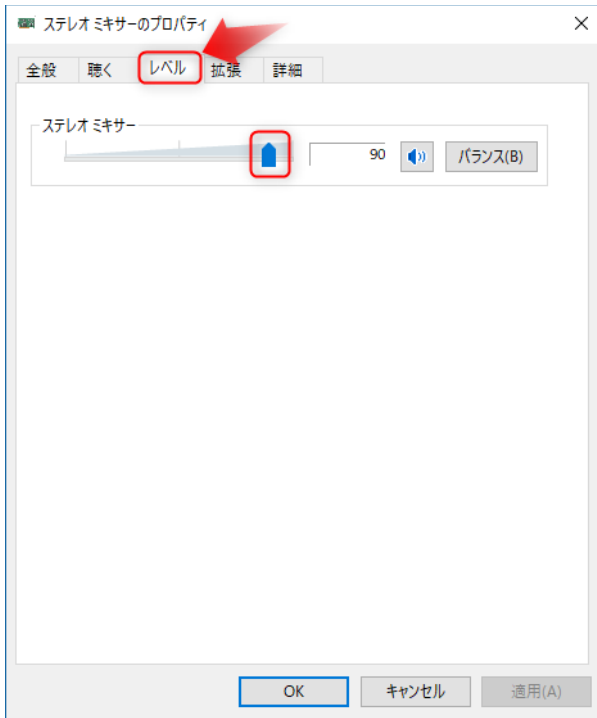
◆右クリックメニューから「有効化」または「既定のデバイスとして設定」を選択することで設定できます。



③再生プレーヤーで音声を再生すると、インジケータが適度に触れることを確認します。

◆インジケータが適度に振れない場合、「プロパティ」をクリックして、表示されるダイアログでレベルを調整します。

[レベル]タブを選択し、スライダーを移動させて、ステレオミキサーのレベルを調整します。(調整して、適切かどうかは、前頁のインジケータが適度に振れるかどうかで判断します)

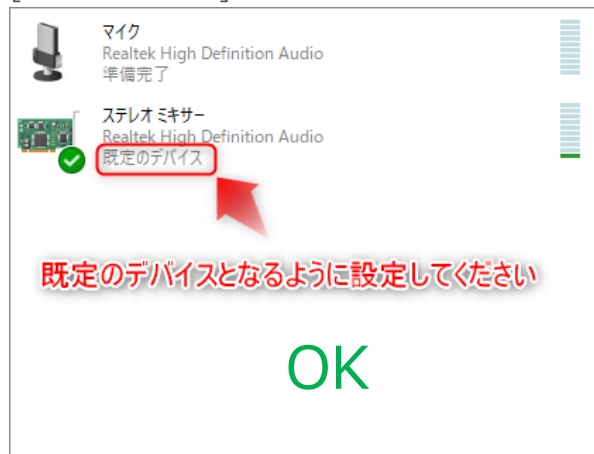


- ◆ レベルを調整しても、インジケータが適度に振れない場合は、パソコンの問題になります。パソコンメーカーにお問合せください。
- ◆ 右クリックメニューから「無効なデバイスの表示」「切断されているデバイスの表示」を選択すると、デバイスが表示される場合があります。
- ◆ 「既定の通信デバイス」となっている場合は、インジケータが反応していても認識できません。右クリックメニューから「既定のデバイス」となるように設定してください。使用しないデバイスは、右クリックメニューから「無効化」を選択するとより確実です。

録音音声の文字化で認識できない設定例



[再生して文字化]の正しい設定例



- ◆ パソコンによっては、ステレオミキサーが存在しないことがあります。
ステレオミキサーがパソコンに搭載されていない場合、
対応方法①：オーディオケーブルを介して、マイクの設定で認識する方法
対応方法②：USB ステレオミキサーを用いる方法
により、認識させることができます。(次ページ)

ステレオミキサーが存在しないパソコンの場合

対応方法①：オーディオケーブルを介して、マイクの設定で認識する方法



1	二股分配ケーブルをパソコンのヘッドホン端子に接続します。
2	二股分配ケーブルと（ヘッドホン・スピーカーなど）と接続します。
3	二股分配ケーブルとオーディオケーブルを接続します。
4	オーディオケーブルをパソコンのマイク端子に接続します。

◆再生音声をマイクに流し込んで認識させますので、録音デバイスはマイクを「既定のデバイス」に設定してください。

◆オーディオケーブルは、「抵抗入り」と「抵抗なし」の2種類があります。ご利用のパソコンの仕様に基づいたオーディオケーブルを選択してください。詳しくは、パソコンの取扱い説明書をご確認ください。

対応方法②：USB ステレオミキサーを用いる方法

「USB」「ステレオミキサー」をキーワードにネット検索してみてください。ステレオミキサー機能を追加可能な機器がいろいろ見つかります。

◆USB ステレオミキサーとパソコンとの相性に関して、ボイステクノ並びに販売者等は、動作保証を行っていません。詳細は、USB ステレオミキサーの開発元にお問い合わせをお願いします。

◆USB ステレオミキサーに付属の専用ソフトをインストールすると、録音デバイスに、ステレオミキサーに相当するデバイスが追加される商品があります。

例：Creative 社の再生リダイレクト対応商品（[対応一覧](#)）（Ctrl キーを押しながらクリック）など

上記商品は、一例であって、ボイステクノ並びに販売者等は、ご利用のパソコンでの動作を保証するものではありません。USB ステレオミキサーの導入に際しては、ご自身の責任でご判断願います。

3-3 入力音声のレベル調整（初期設定）

パソコンに入力される音声を録音し、録音品質と入力音声のレベルを確認します。

STEP 3-3-1 STEP3-2 録音デバイスの設定を行います。

STEP 3-3-2 [初期設定]のチェックを入れます。

チェックを入れると、入力音声の確認ボタンバーが表示されます。

「マイクによる音声を文字化」の場合



①[初期設定]ボタンをクリックします。

②[録音開始]をクリックし、マイクに向かって話します。

③[録音停止]ボタンをクリックするか、10秒が経過するまで待ちます。



④録音が完了すると、音声レベルの結果（上記表示例は、「適した音量」）が表示されます。

※音量が適正でない場合は、録音デバイスのレベルを調整し直してください。

⑤[再生]ボタンをクリックすると、この間に録音された音声再生されます。正常に録音されたかどうかを確認してください。

⑥これらの手順を動画で確認できます。

「録音音声を再生して文字化」の場合



- ①[プレイヤー]ボタンをクリックします。
- ②[初期設定]ボタンをクリックします。
- ③再生する音声ファイルを選択します。
- ④プレイヤーの[再生]ボタンをクリックし、音声ファイルを再生します。
- ⑤[録音開始]をクリックします。
- ⑥[録音停止]ボタンをクリックするか、10秒が経過するまで待ちます。



- ⑦プレイヤーを停止します。
- ⑧録音が完了すると、音声レベルの結果（「適した音量」）が表示されます。
※音量が適正でない場合は、録音デバイスのレベルを調整し直してください。
- ⑨[再生]ボタンをクリックすると、この間に録音された音声再生されます。正常に録音されたかどうかを確認してください。
- ⑩これらの手順を動画で確認できます。

◆マイク、ステレオミキサーの性能が悪いと、ノイズを含んだ音声再生されます。ノイズを含んでいると音声認識の精度は期待できません。また、STEP3-2 録音デバイスの設定に記載のレベルが適切でないと、音が割れたり、再生音がほとんど聞こえない状態になることがあります。このような状態になる場合は、STEP3-2 録音デバイスの設定をやり直してください。ステレオミキサーの性能が悪い場合は、ステレオミキサーが存在しないパソコンの場合の対応方法（P19）をご確認ください。

4. マイクによる音声文字化の使い方

4-1 音声認識の実行

マイクに向かって話した音声を変換します。以下の手順は、3の事前準備ができている前提です。

「マイクによる音声文字化」を実行する前に、録音デバイスを、マイクが「既定のデバイス」となるように設定し、入力音声レベルが適切な音量となるように調整しておいてください。

STEP 4-1-1



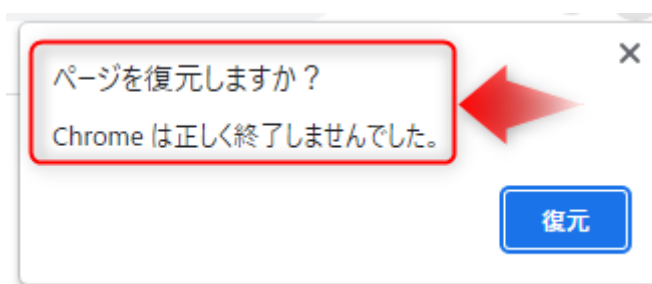
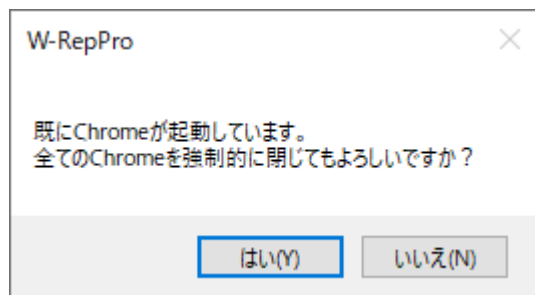
①リフレッシュ間隔[秒]を設定します。

リフレッシュ間隔 [秒]とは、音声認識動作が停止しないように、更新を行う時間間隔のことです。通常、Chromeによる音声認識は、無音が続くと認識が停止し、以降の認識が実行できなくなります。その対策になります。

②音声認識を行う言語を選択します。日本語、英語の選択ができます。

③音声認識の[開始]をクリックします。

◆先に Chrome が起動している場合、次のダイアログ（左）が表示されます。



先に起動している Chrome を手動で閉じる場合は、[いいえ]を選択し、起動している Chrome を閉じてから、再度、前記音声認識の①開始を実行してください。

[はい]を選択すると、本ソフトが起動している全ての Chrome を強制的に閉じます。強制的に Chrome を閉じると、次回 Chrome を単独で起動したとき、上のダイアログ（右）が表示されます。

◆HotKey の使用

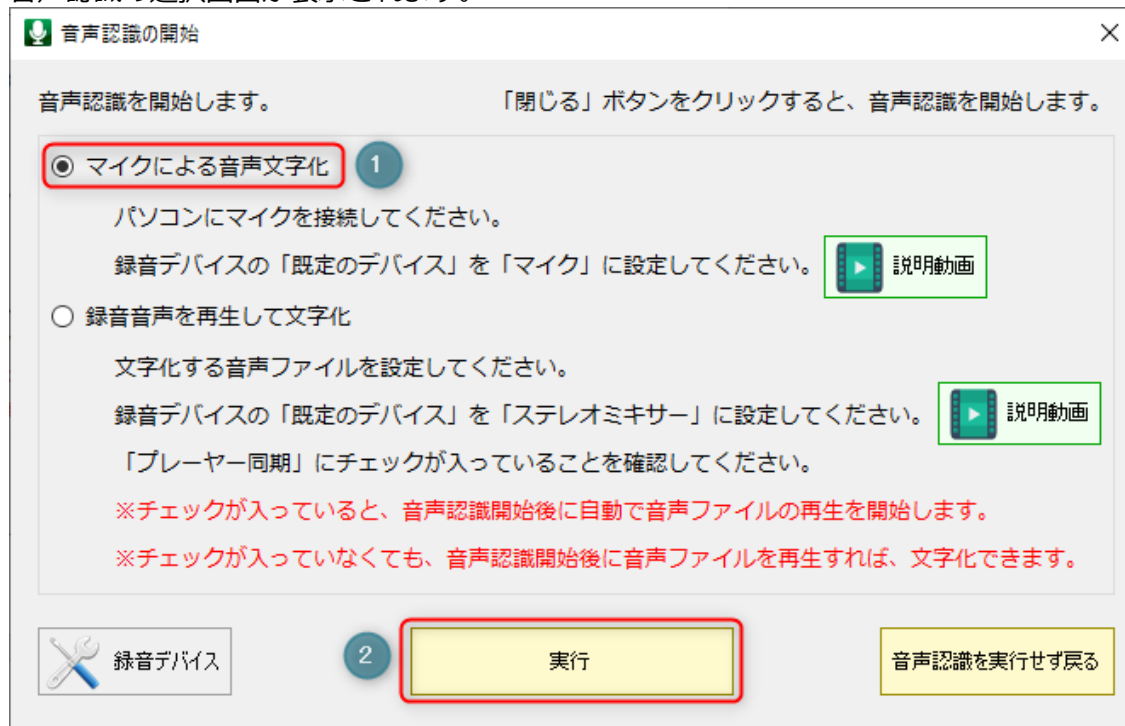


HotKey の使用にチェックを入れると、キーボードの操作で、音声認識の開始と停止が操作できます。

音声認識の開始 : Alt + K

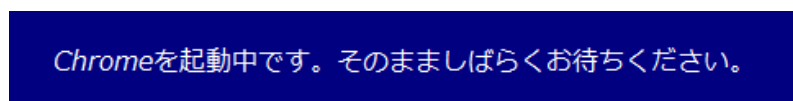
音声認識の停止 : Alt + J

音声認識の選択画面が表示されます。



「マイクによる音声文字化」①を選択し、[実行]②をクリックします。

Google Chrome が自動で起動されます。



◆ Chrome の起動が完了しても、Chrome のメイン画面には表示されません。Windows のタスクバーに Chrome アイコンが表示されます。



Chrome の起動が完了したら、マイクに向かって話してください。

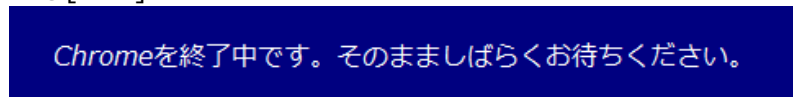
◆ 通信回線の速度が遅いと、リアルタイムに音声認識が実行されないことがあります。高速通信が行われるネット環境でご利用ください。

◆ 通信回線に不調があると転送できなくなることがあります。転送できなくなった場合は、接続が切れている可能性がありますので、音声認識を停止して、再度、起動し直してください。

STEP 4-1-2 音声認識中に操作可能な認識操作ボタン



① [停止]をクリックすると、音声認識処理を終了します。起動していた Chrome も閉じられます。



② Chrome 側の音声認識動作をリセットします。

5. 録音音声を再生して文字化の使い方

5-1 音声認識の実行

録音音声を上部のプレーヤーで再生することで、再生した音声を文字に変換します。

以下の手順は、3の事前準備ができています。

再生して文字化を実行する前に、録音デバイスを、ステレオミキサーが「既定のデバイス」となるように設定し、入力音声レベルが適切な音量となるように調整しておいてください。

◆録音音声文字化時の留意点

マイクを通していない音声の会議録音、フリートーク、電話などの会話調の音声、街中のインタビューなどの場合は、認識精度は期待できません。ほとんど認識できないこともあります。また、録音品質が悪い（ノイズが多い）場合も認識精度が出ません。録音時に、マイクと口元が30cm以上離れている場合は認識精度が悪くなります。会議の場合は、発話者ごとにマイクを通して話すようにし、明瞭に話すことを心がけてください。テーブルの中央にICレコーダーを置いただけの録音の場合（集音マイクでの録音）は、認識精度は出ません。

◆ご注意

ご利用のOfficeが、64bit専用モードでインストールされている場合、プレーヤーは、Wordの中に一体化して表示されません。専用のプレーヤーが起動します。



- ・専用プレーヤーでは、Hotkeyの無効化、プレーヤー同期が使用できません。
- ・専用プレーヤーで再生して文字化を行うときは、[参照ボタン]から再生ファイルを設定し、音声認識を実行後、手動で再生ボタンをクリックして再生を開始してください。

STEP 5-1-1 再生リスト画面から、①文字化したい音声ファイルを選択し、②リフレッシュ間隔を設定して、音声認識の③開始をクリックします。



[認識時の設定項目]

①文字化したい音声ファイルを選択します。

②リフレッシュ間隔[秒]を設定します。

リフレッシュ間隔 [秒]とは、音声認識動作が停止しないように、更新を行う時間間隔のことです。通常、Chromeによる音声認識は、無音が続くと認識が停止し、以降の認識が実行できなくなります。その対策になります。

③プレイヤー同期にチェックを入れます。

チェックを入れておくと、音声認識実行時、Chromeの起動が完了し音声認識がスタートすると同時に、プレイヤーの再生が始まります。

④タイムライン（認識時に付与）：

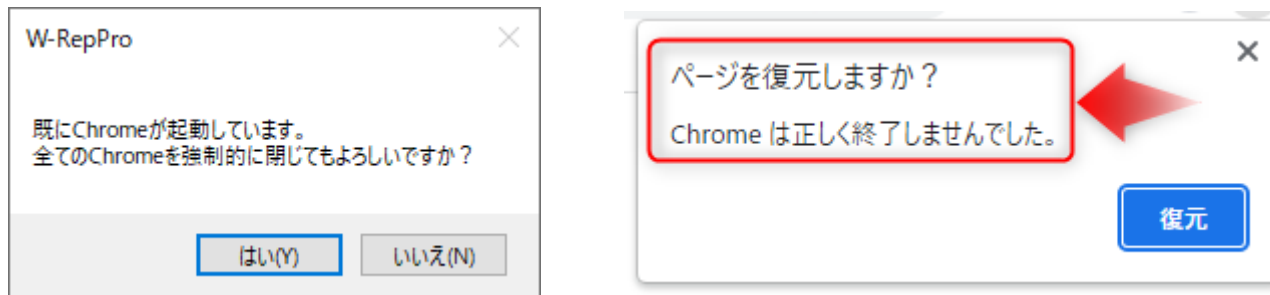
チェックを入れて、音声認識を開始すると、音声ファイルのカウンター情報（時：分：秒）が音声認識単位ごとに付与されます。音声ファイルのどの部分を文字化したかが、後でよくわかり、校正に便利です。ネット環境によっては、カウンター情報と付与された時間情報にずれが生じることがあります。付与されるタイムラインの正確性は保証していません。

※[タイムライン除去]ボタンをクリックすると、タイムラインをすべて除去することができます。(P28)

⑤音声認識を行う言語を選択します。日本語、英語の選択ができます。

⑥音声認識の[開始]をクリックします。

◆先に Chrome が起動している場合、次のダイアログ（左）が表示されます。



先に起動している Chrome を手動で閉じる場合は、[いいえ]を選択し、起動している Chrome を閉じてから、再度、前記音声認識の①開始を実行してください。

[はい]を選択すると、本ソフトが起動している全ての Chrome を強制的に閉じます。強制的に Chrome を閉じると、次回 Chrome を単独で起動したとき、上のダイアログ（右）が表示されます。

◆HotKey の使用



HotKey の使用にチェックを入れると、キーボードの操作で、プレイヤー部が操作できます。

再生・一時停止 : ESC

プレイヤーの早戻し (5 秒戻ります) : F5

プレイヤーの早送り (5 秒進みます) : F6

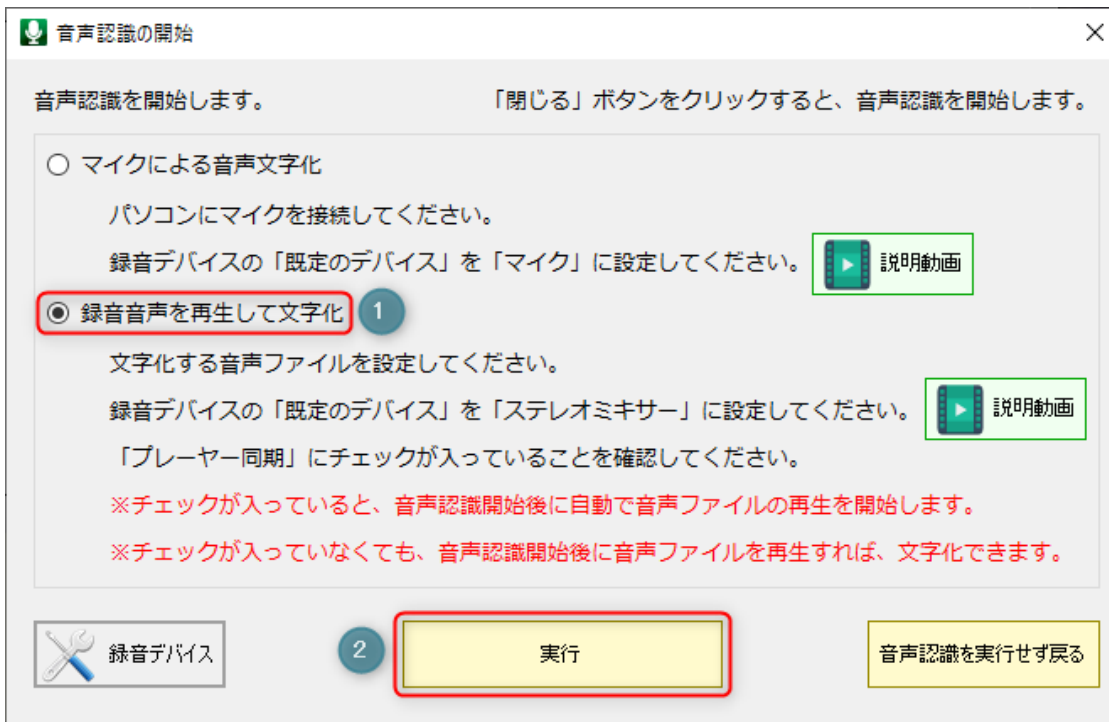
カウンター情報をメイン画面に貼り付け : Ctrl + F1

プレイヤーのカウンター位置に移動 : Ctrl + Tab

◆ご注意

ご利用の Office が、64bit 専用モードでインストールされている場合、起動した専用のプレイヤーの HotKey は無効にできません。

音声認識の選択画面が表示されます。



「録音音声を再生して文字化」①を選択し、[実行]②をクリックします。

Google Chrome が自動で起動されます。

Chromeを起動中です。そのまましばらくお待ちください。

◆Chrome の起動が完了しても、Chrome のメイン画面には表示されません。Windows のタスクバーに Chrome アイコンが表示されます。



「プレーヤー同期」にチェックが入っている場合、Chrome の起動が完了すると、音声ファイルの再生が自動で開始され、文字化が始まります。

「プレーヤー同期」にチェックが入っていない場合、Chrome の起動が完了したあとに、音声ファイルを手動で再生してください。再生された音声の文字化が始まります。

◆ご注意

ご利用の Office が、64bit 専用モードでインストールされている場合、「プレーヤー同期」は使用できません。

- ◆通信回線の速度が遅いと、リアルタイムに音声認識が実行されないことがあります。高速通信が行われるネット環境でご利用ください。
- ◆通信回線に不調があると転送できなくなることがあります。転送できなくなった場合は、接続が切れている可能性がありますので、音声認識を停止して、再度、起動し直してください。
- ◆録音音声ファイルを最後まで再生すると、再生位置が自動で先頭に戻り、音声認識も終了します。

STEP 5-1-2 音声認識中に操作可能な認識操作ボタン



①[停止]をクリックすると、音声認識処理を終了します。起動していた Chrome も閉じられます。

Chromeを終了中です。そのまましばらくお待ちください。

③ Chrome 側の音声認識動作をリセットします。

STEP 5-1-3 プレーヤーの操作

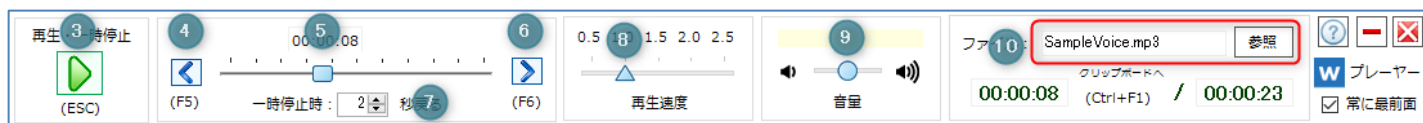
本ソフトのプレーヤー画面操作に関する説明です。



①	このボタン[プレーヤー]を押下すると、プレーヤー画面が表示されます。
②	プレーヤーの機能をキーで操作する場合に、チェックを入れます。
③	ボイスファイルの再生・一時停止を実行します。[Hotkey]にチェックが入っている場合、[ESC]キーの操作でも動作します。
④	ボイスファイルの再生位置を早戻しします。[Hotkey]にチェックが入っている場合、[F5]キーの操作でも動作します。
⑤	このつまみをつかんで任意の再生位置に移動できます。
⑥	ボイスファイルの再生位置を早送りします。[Hotkey]にチェックが入っている場合、[F6]キーの操作でも動作します。
⑦	ボイスファイルの一次停止時に戻る秒数を指定します。
⑧	再生速度を調整します。速度の倍率を変えても音程が変わりません。
⑨	再生時の音量を調整します。
⑩	[参照]ボタンをクリックして、再生するボイスファイルを選択します。再生可能はボイスファイル形式は、16bit の mp3/wma/wav です。wav 形式は、標準的な PCM のみです。
⑪	テキスト編集画面にある 00:00:00 形式の部分ドラッグしてこのボタンを押すと、再生位置がその場所に移動します。[Hotkey]にチェックが入っている場合、[Ctrl + Tab]キーの操作でも動作します。 (詳細は、P を参照)

◆ご注意

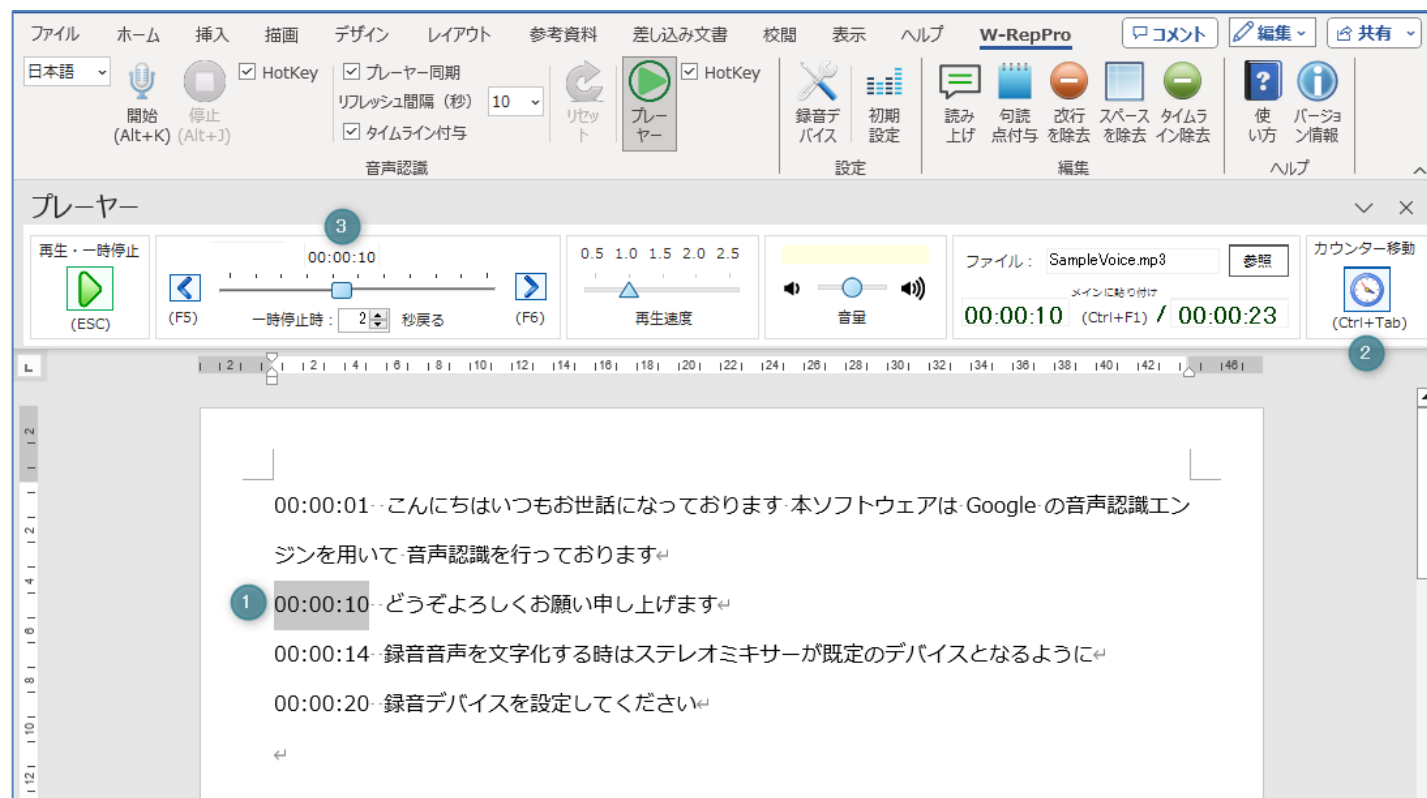
ご利用の Office が、64bit 専用モードでインストールされている場合、起動した専用のプレーヤーでの操作になります。



6. 音声認識結果の編集

6-1 テキスト編集画面からのカウンター移動

テキスト編集画面にカウンター情報（タイムライン）を設定しておけば、そのカウンター情報から再生位置が瞬時に移動できます。あとで再確認したい部分や、書き起こしと校正を別々に担当しているときの確認作業に便利です。音声認識時に自動付与されたタイムラインと音声ファイルの再生位置が連動します。



①	テキスト編集画面内のカウンター情報を選択します。
②	カウンター移動ボタンをクリックします。[Hotkey]にチェックが入っている場合、[Ctrl + Tab]キーの操作でも動作します。
③	録音ファイルの再生位置（カウンター）が、①で選択した位置に移動します。

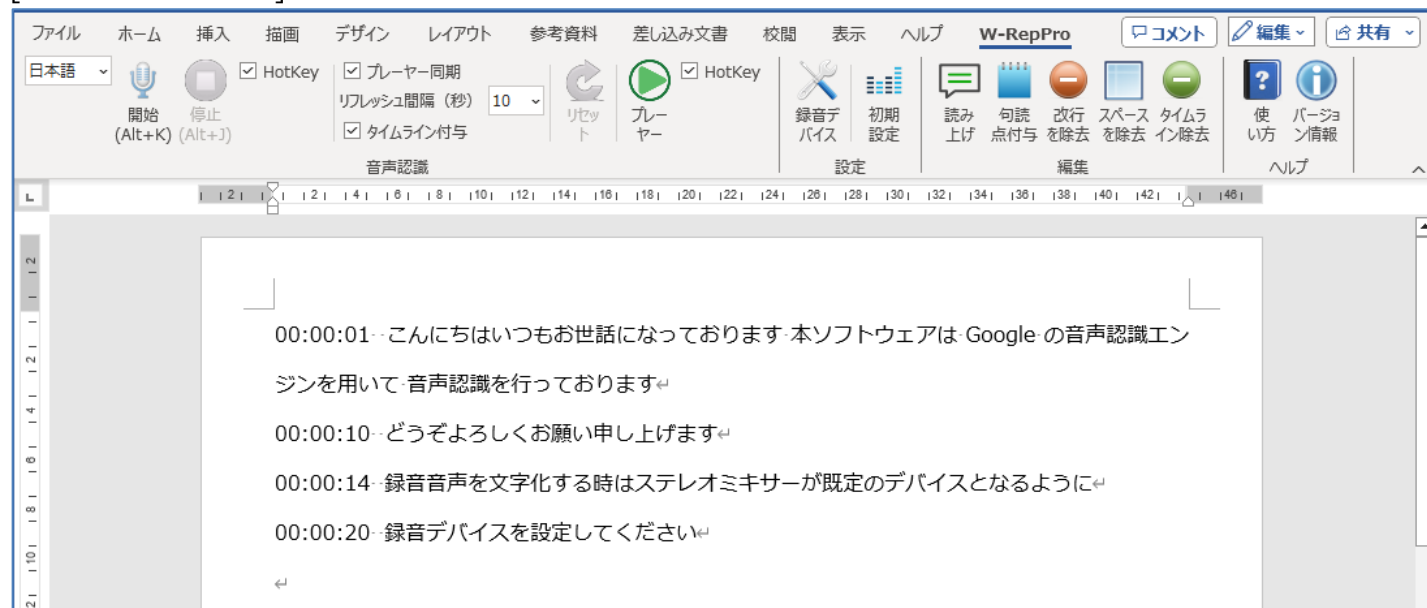
◆ご注意

ご利用の Office が、64bit 専用モードでインストールされている場合、カウンター移動の機能はご利用頂けません。

6-2 タイムライン除去

音声認識時に付与されたタイムライン(00:00:00部)が不要となる場合、ワンクリックで除去できます。

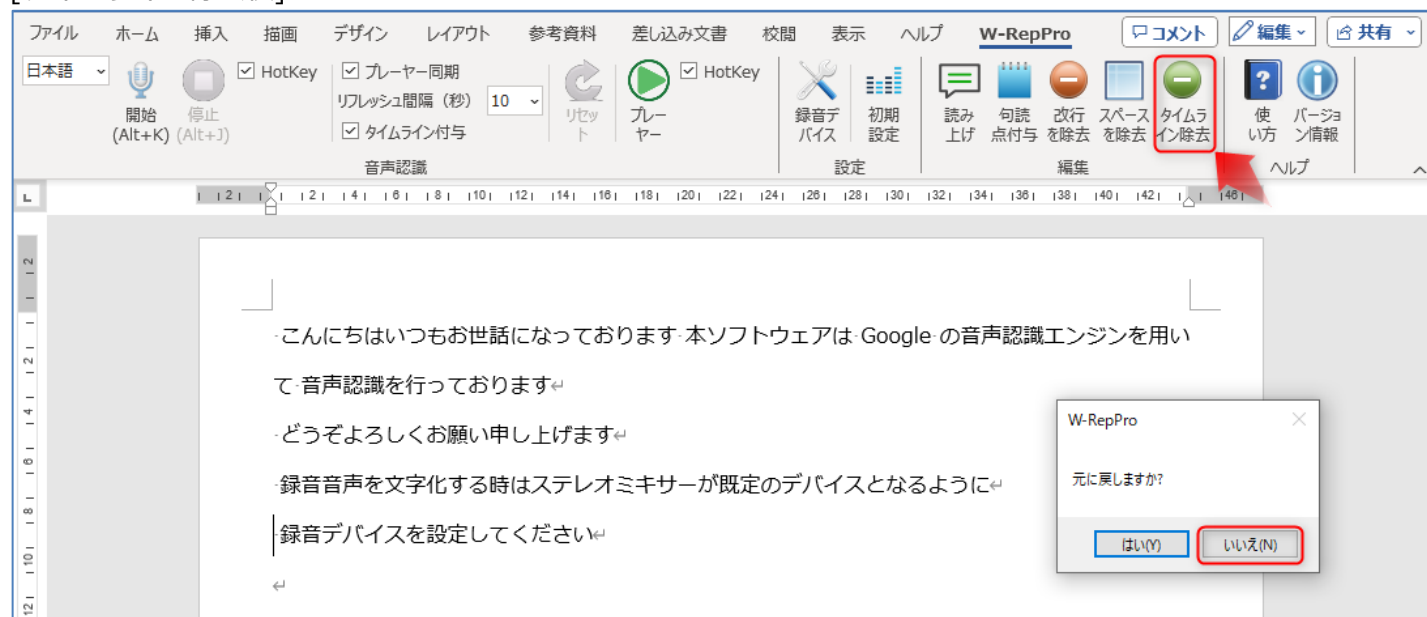
[タイムライン除去前]



[タイムライン除去]をクリックすると、タイムラインが除去されます。「元に戻しますか?」の画面で、「いいえ」をクリックすると、タイムラインの除去が確定されます。



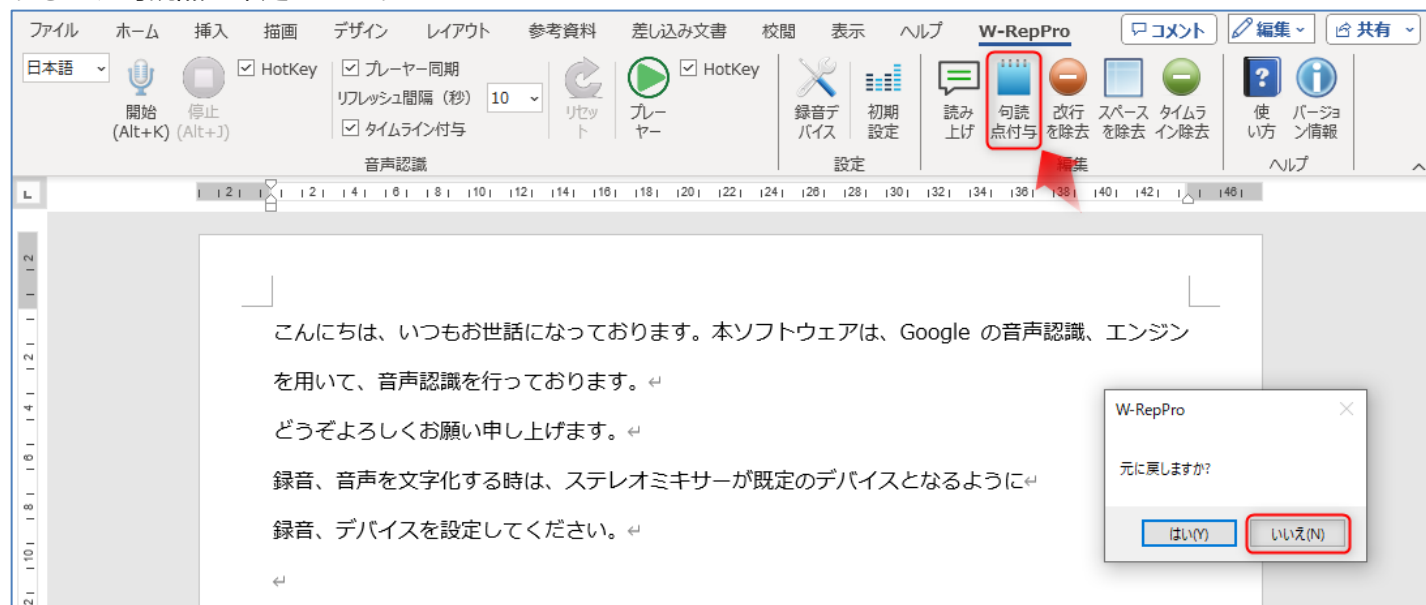
[タイムライン除去後]



6-3 句読点付与

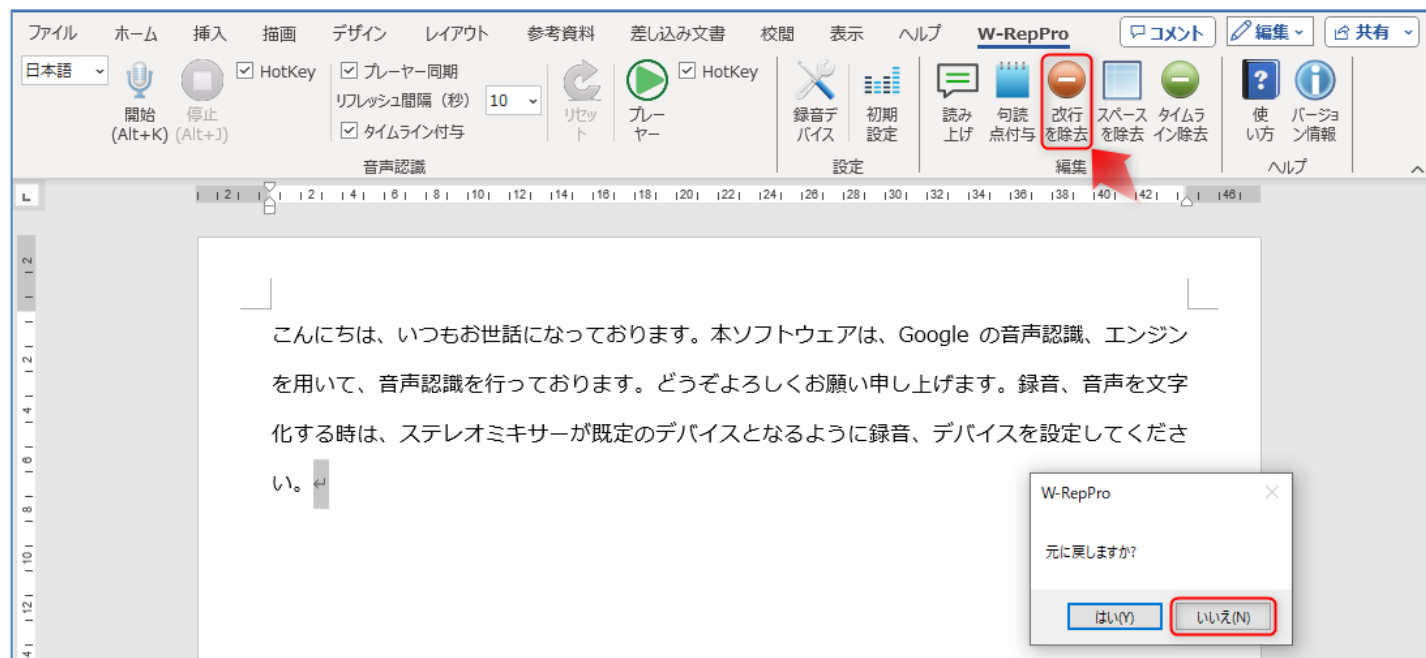
音声認識で文字化された文章には、句読点が付与されていません。

[句読点付与]をクリックすると、句読点が付与されます。「元に戻しますか？」の画面で、「いいえ」をクリックすると、句読点が確定されます。



6-4 改行除去

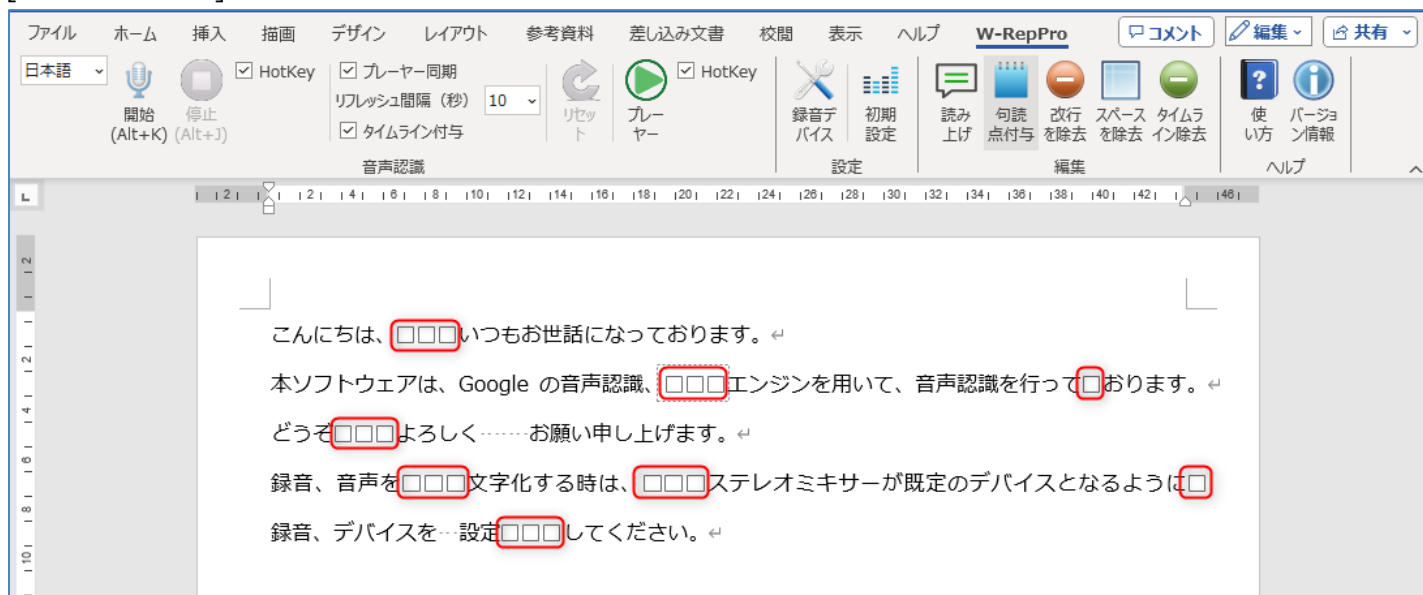
[改行除去]をクリックすると、改行が除去されます。「元に戻しますか？」の画面で、「いいえ」をクリックすると、改行の除去が確定されます。



6-5 スペース除去

文章中に不要なスペースがあり場合にワンクリックで除去できます。

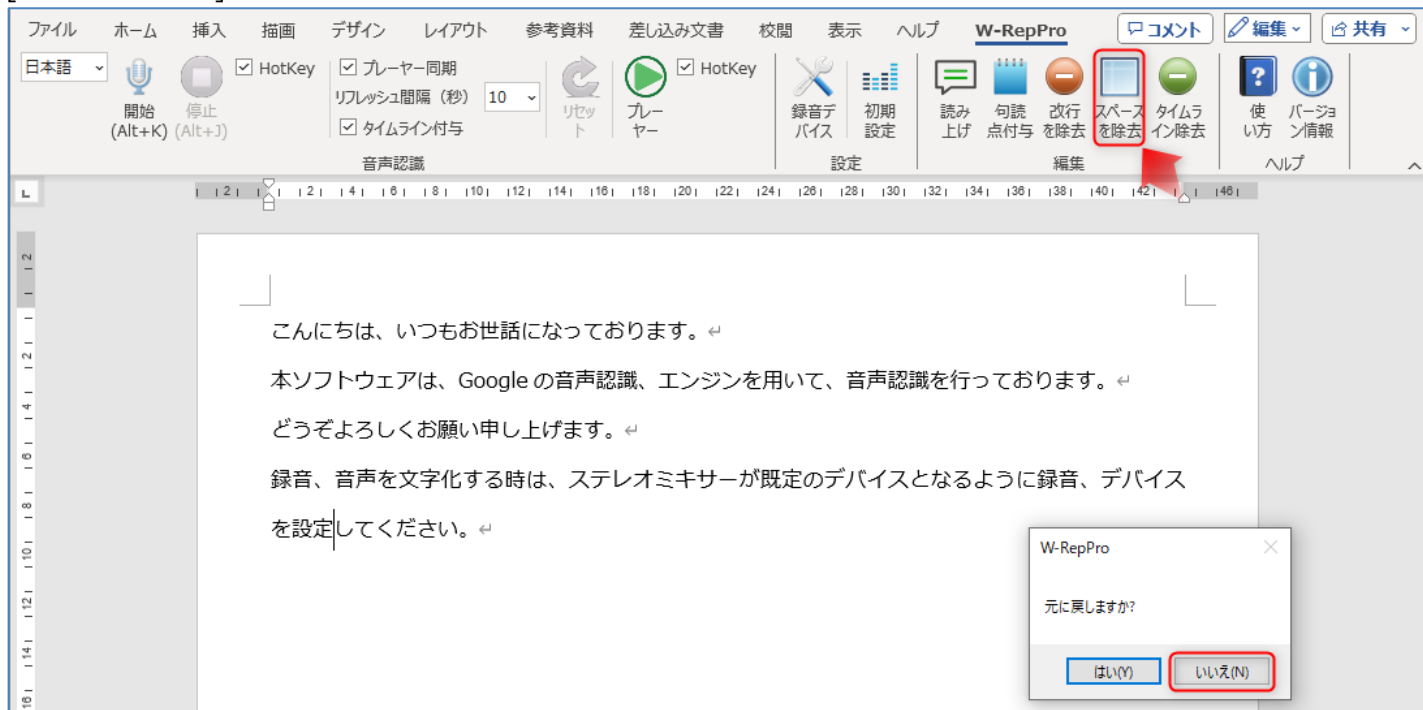
[スペース除去前]



[スペースを除去]をクリックすると、スペースが除去されます。「元に戻しますか?」の画面で、「いいえ」をクリックすると、スペースの除去が確定されます。



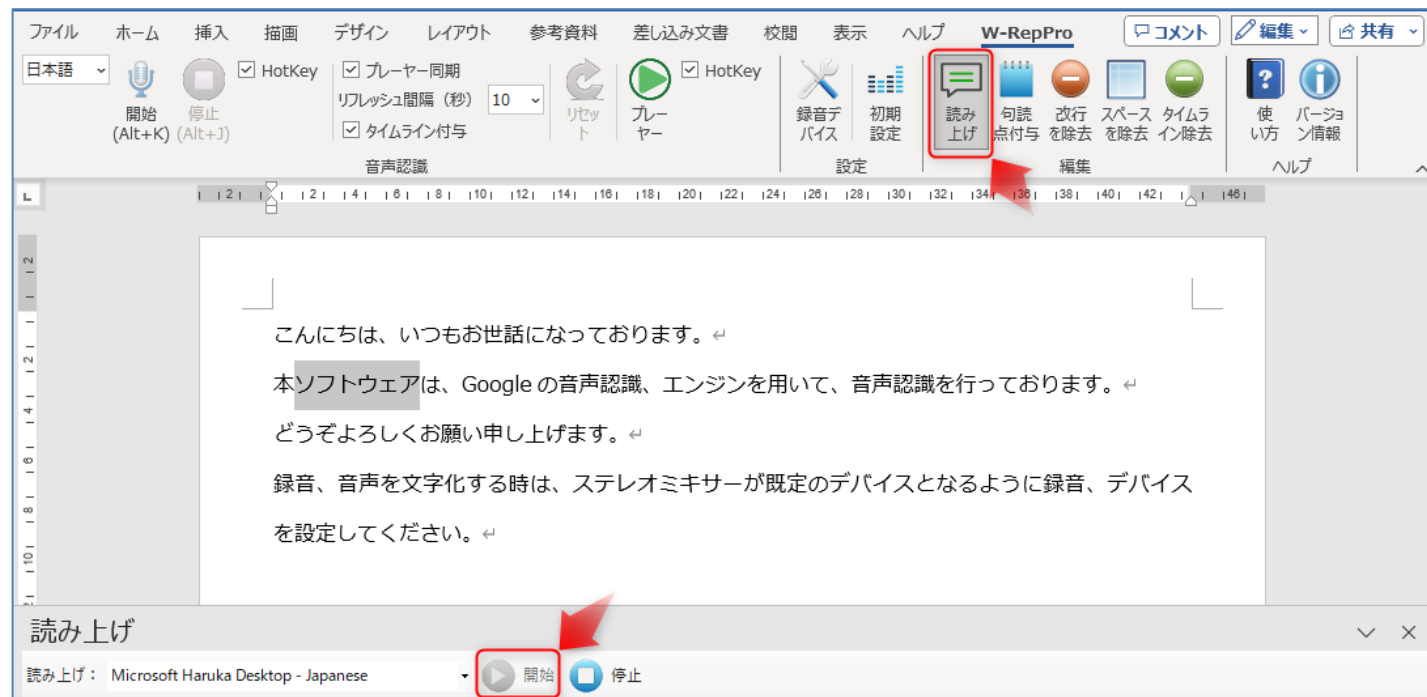
[スペース除去後]



7. 読み上げ

作成した文章を読み上げることができます。

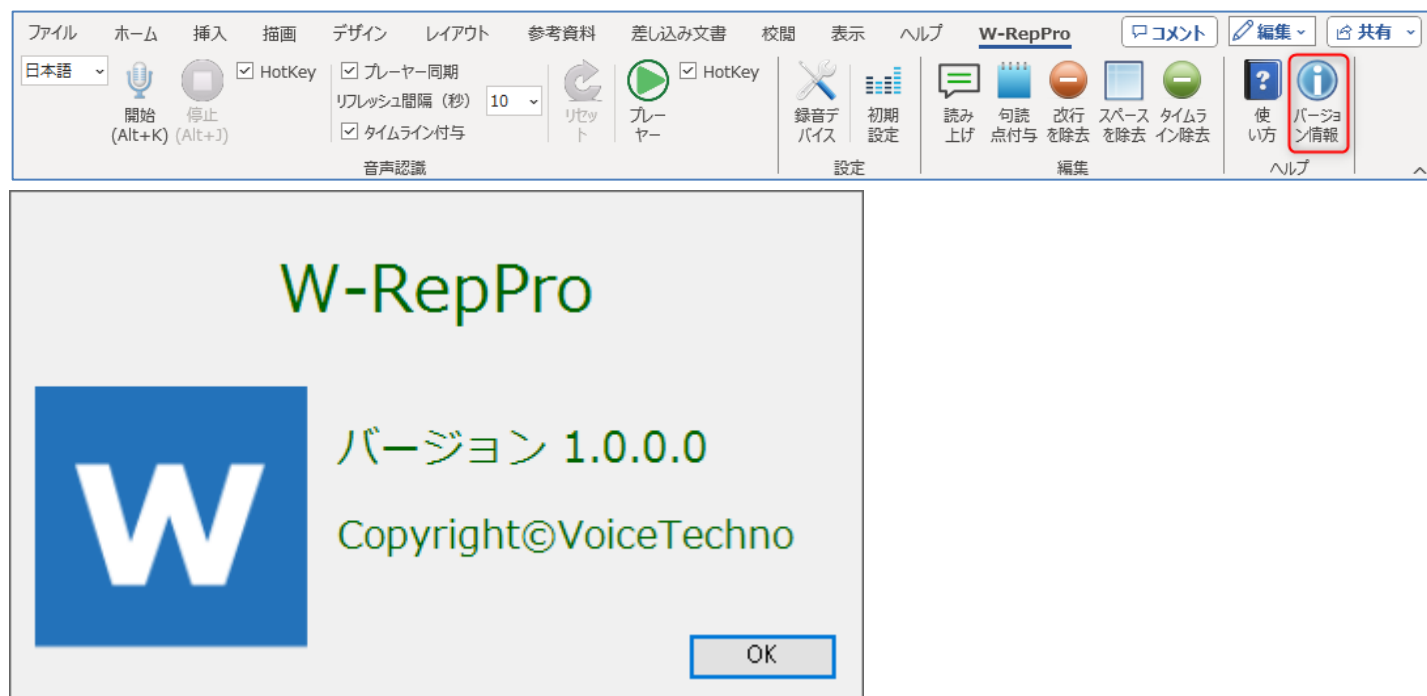
[読み上げ]ボタンをクリックすると、Wordの下部に読み上げ部が表示されます。



[開始]をクリックすると、文章を読み上げます。

8. バージョン情報

[バージョン情報]ボタンをクリックすると、バージョン情報が表示されます。



9. 使い方（動画）

[使い方]ボタンをクリックすると、本ソフトの音声認識に関する使い方を解説した[ホームページ](#)（Ctrl キーを押しながらクリック）が表示されます。操作手順を動画で確認できるようにしています。



10. サポート連絡先

【ボイステクノサポート】

W-RepPro の[よくある質問](#)（Ctrl キーを押しながらクリック）のご確認をお願いします。

本ソフトの一次サポートは、販売店がお受けしています。ご購入されたところにお問合せ願います。

それでも解決しない場合は、[サポートページ](#)（Ctrl キーを押しながらクリック）のお問い合わせフォームから、必要事項をご記入いただき、送信してください。

- ◆ 24 時間受け付けております。
- ◆ お問い合わせいただきしてから「3 営業日」以内の目途に回答いたします。
- ◆ お問い合わせはメールでの受付のみとなっております。
- ◆ 音声認識を行うサーバーは、不定期にメンテナンスを行うことがあります。あらかじめご了承ください。メンテナンス中は、音声認識が実行できない状態となります。

11. ホームページ

W-RepPro の[専用ページ](#)（Ctrl キーを押しながらクリック）をご確認ください。

【開発元】ボイステクノ (<http://voicetechno-jp.secure-web.jp>)